



The Global Language of Business

2022年度 流通BMS協議会 活動報告

— インボイス制度対応を中心に —

流通システム標準普及推進協議会
2022.10.28

1. 流通BMS協議会の活動

標準の維持管理活動

- (1) メッセージメンテナンス部会
- (2) 技術仕様検討部会

標準の導入支援活動

- (1) 業界団体等に対する支援
- (2) 小売業の取引先説明会への講師派遣
⇒小売業・卸売業の社内説明会での講師も含む
- (3) 製品・サービスの紹介
⇒ロゴマーク使用許諾
⇒流通BMSソリューションEXPO (inリテールテック)
- (4) 相談窓口の設置

標準の普及推進活動

- (1) 普及推進部会
- (2) 普及セミナー開催
- (3) 各種資料作成 等



The Global Language of Business

2-1. 2021年度の維持管理活動

(1) メッセージメンテナンス部会【CR承認】

- 「消費税軽減税率【適格請求書等保存方式（インボイス制度）】」対応
 - ▶ インボイス要件として定められている事項への対応が必要
 - ✓ 適格請求書発行事業者の登録番号の記載
 - ✓ 税率ごとに合計した消費税額の記載
 - ✓ 返還インボイス（返品）への対応

- ◆ 請求鑑メッセージにデータ項目追加
- ◆ 支払メッセージの「支払内容」に新コード追加
- ◆ 返品メッセージと返品受領メッセージに、データ項目を追加
- ◆ 運用ガイドラインの改訂



The Global Language of Business

2

2-2. 2021年度の導入支援活動①

(1) 正会員に対する支援

- 会議への参加：7団体、39回
 - ✓ 説明会や勉強会への講師派遣含む：3団体、5回
- 会合への講師派遣：無し
- 小売業の取引先説明会への講師派遣：無し



The Global Language of Business

3

2-2. 2021年度の導入支援活動②

(2) ロゴマークの使用許諾

- 130製品・サービス、60社

(3) リテールテックへの出展

- 2021年10月28日～29日
「リテールテックOSAKA2021（インテックス大阪）」
※大阪での初開催であり事務局のみで出展
- 2022年3月1日～4日
「リテールテックJAPAN2022（東京ビッグサイト）」
ロゴ使用許諾企業の5社に出展頂いた。



The Global Language of Business

4

2-3. 2021年度の普及推進活動①

(1) 普及推進部会の開催

- 2021年8月5日
「第1回 普及推進部会（オンライン開催）」
 - 総会で承認された事業計画を基に、2021年度の普及推進活動について検討
- 2022年4月18日
「第2回 普及推進部会（ハイブリット開催）」
 - 第1回の部会で計画した内容を基に、2021年度おこなった事業内容の報告
 - 2022年度の普及活動方針（案）



The Global Language of Business

5

2-3. 2021年度の普及推進活動②

(2) 流通BMS導入実態調査

□ 第7回目（2年に1度実施） ◆ 2022年1月～5月

➤ 例年通り、正会員団体を通じて、会員企業に対して調査依頼

- ✓ **小売業：8団体**（50音順）
 オール日本スーパーマーケット協会、（一社）新日本スーパーマーケット協会、
 （一社）日本スーパーマーケット協会、日本生活協同組合連合会、
 （一社）日本DIY協会、日本チェーンストア協会、日本チェーンドラッグストア協会、
 （一社）日本百貨店協会
- ✓ **卸・メーカー：17団体**（50音順）
 （一財）家電製品協会、生鮮取引電子化推進協議会、全国菓子卸商業組合連合会、
 全国化粧品日用品卸連合会、全日本菓子協会、（一社）日本アパレル・ファッション産業協会、
 （一社）日本医薬品卸売業連合会 大衆薬卸協議会、（一社）日本衛生材料工業連合会、
 日本OTC医薬品協会、（一社）日本加工食品卸協会、日本化粧品工業連合会、
 日本石鹸洗剤工業会、（一社）日本DIY協会、日本ハム・ソーセージ工業協同組合、
 （一社）日本パン工業会、S研（小売を除く④）、F研⑤
④S研（スポーツ用品情報システム研究会）は、（一社）日本スポーツ用品工業協会の依頼により調査対象とした。
 ⑤F研＝酒類・加工食品企業間情報システム研究会

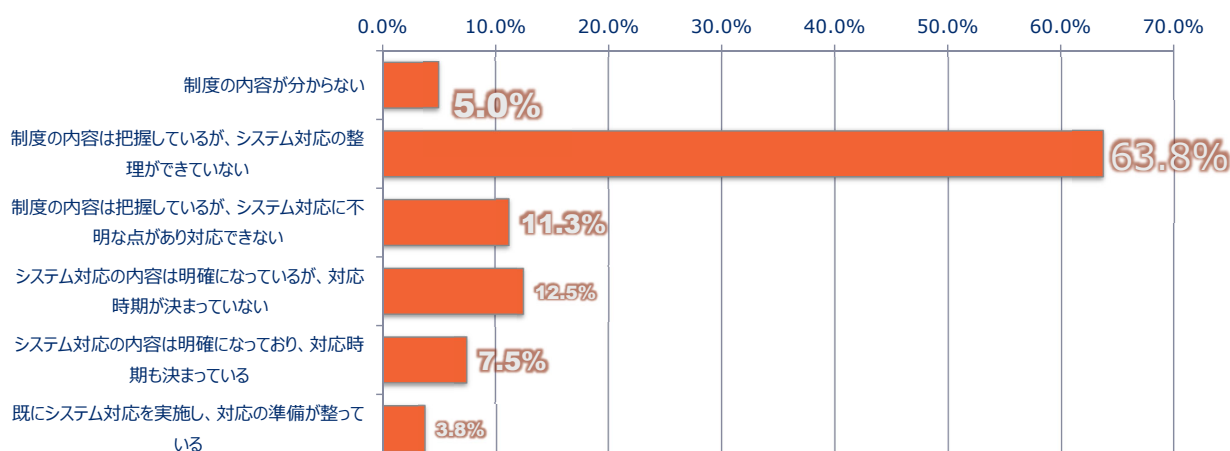


The Global Language of Business

☆2021導入実態調査アンケート結果【小売】①

N=80

小売の軽減税率制度軽減税率制度インボイス制度へのシステム対応状況について



小売業では全体の6割以上が制度の内容の把握はしているが、システム対応の整理が出来ていない状況である。

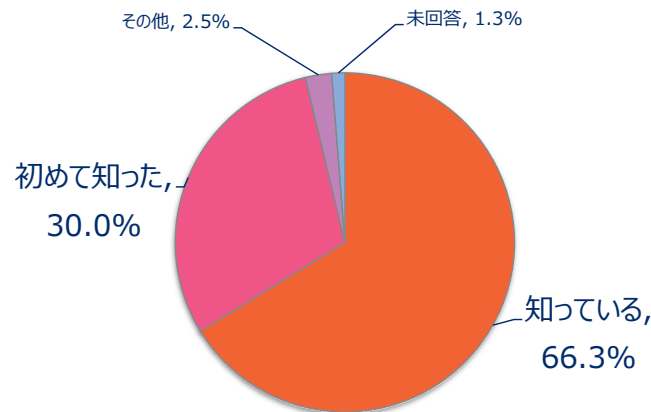


The Global Language of Business

☆2021導入実態調査アンケート結果【小売】②

小売
インボイス制度の返還インボイスについて

N=80



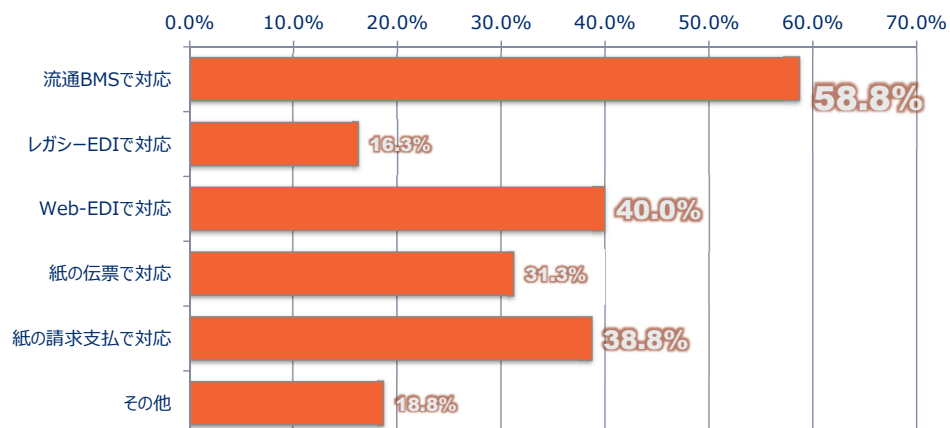
The Global Language of Business

8

☆2021導入実態調査アンケート結果【小売】③

小売の軽減税率制度インボイス方式の受発注・請求支払における対応方法について

N=80



小売業では流通BMSの対応が6割程度、次いでWeb-EDI、紙の請求書となっている。レガシーEDIでの対応は2割以下。

<https://www.gs1jp.org/ryutsu-bms/info/info09.html> で公開中!



The Global Language of Business

9

2-2. 2021年度の普及推進活動③

(3) 講座の開催

□ 流通BMS入門講座

- 新型コロナウイルス感染症の拡大が長期継続し中止

□ 流通BMS Web講座 (e-learning)

- 2015年より導入講座、2017年に入門講座を追加
- 2022年3月現在 累計 1,602ID発行済み

(4) 流通BMS導入企業名の公開

□ 小売業 219社 (内 導入予定 16社)

□ 卸売業/メーカー 227社 (内 導入予定 24社)



The Global Language of Business

10

2-2. 2021年度の普及推進活動④

(5) 卸・メーカーの導入企業数推計

□ 2021年12月の調査で“16,173社”

- 毎年、主要ITベンダーの協力で、6月と12月時点の推計値調査を実施

(6) 流通BMS普及推進フライヤー

□ 2021年度 卸研フライヤーを基に作成し、ホームページに公開済 ※参考資料参照

(7) メールニュース

□ 隔月で、流通BMS関連情報を配信

- 現在の登録数：約4,200名



The Global Language of Business

11

3-1. 2022年度の維持管理活動①

◆重点項目

- 2022年度も、2部会を設置し、正会員団体と密に連携しCR等に迅速に対応する。
 - メッセージメンテナンス部会と技術仕様検討部会
 - 百貨店版インボイス対応CRの対応
- ✓ 近年の課題や各種会議体での検討内容を考慮し、流通BMSとして必要とされる調査・検討などを適宜行う。



The Global Language of Business

12

3-1. 2022年度の維持管理活動②

◆百貨店版インボイス対応CR

【登録番号の記載】 CR有り

- ・ 「支払案内メッセージ」による対応
→ 2種類（相殺を含め）の登録番号を新規に設ける。

【税率ごとの消費税合計額の記載】 CR有り

- ・ 「支払案内メッセージ」による対応
→ 税率ごとの合計額【対価（税抜、税込み）、消費税】を新規に設ける。

【適用税率の記載】 CR有り

- ・ 「支払案内メッセージ」による対応
→ 適用税率を新規に設ける。

【返還インボイスの対応】 CR有り

- ・ 「仕入計上メッセージ」に
「譲渡日」(×2 From/To) を新規に設ける。

8/24 MM部会
全会一致承認！

↓

10月末
公開予定

「区分請求書等保存方式」導入時にCR対応をしていなかった

「譲渡年月1」、「譲渡年月2」を新規の任意データ項目として追加。



The Global Language of Business

13

☆ 適格請求書発行事業者の登録

【令和3年(2021年)10月より受付開始】

- インボイスは、売手が買手に対して、正確な適用税率や消費税額等を伝えるものです。具体的には、現行の「区分記載請求書」に「登録番号」、「適用税率」及び「税率ごとに区分した消費税額等」の記載が追加されたものをいいます。
- 令和5年10月1日から「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」が導入されます。適格請求書発行事業者（登録事業者）のみが適格請求書（インボイス）を交付することができます。
- 「登録番号」を使用するためには、税務署への登録申請が必要になります！



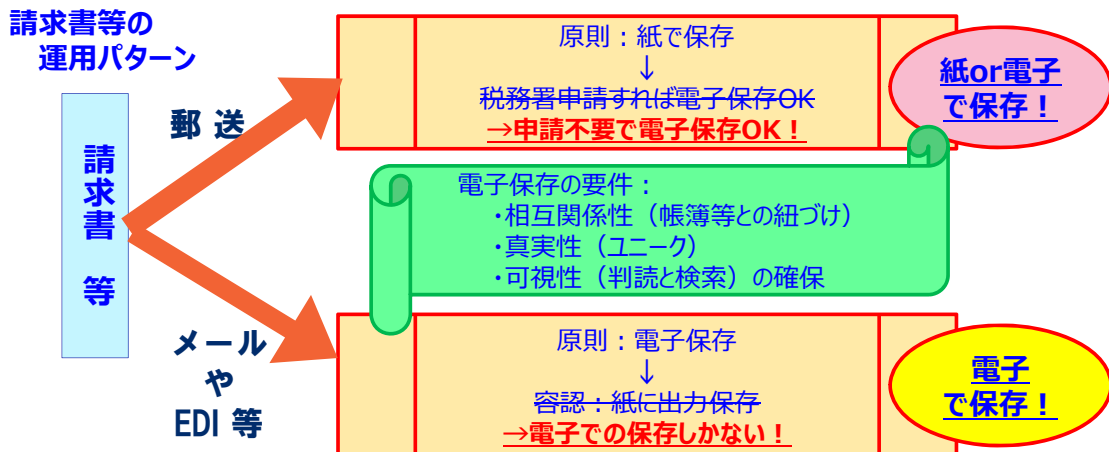
・2023年10月から導入される適格請求書等保存方式（インボイス制度）では、課税事業者が発行する適格請求書等に登録番号が必要になります。
 ・流通BMSの各種メッセージへのデータ項目の追加を現在検討中です。
 適格請求書を交付するための登録については、以下国税庁の案内をご覧ください。



☆ 電子帳簿保存法の改訂

【令和3年(2021年)の改訂ポイント】

申告所得税及び法人税における電子取引の取引情報に係る電磁的記録の保存義務者が行う当該電磁的記録の出力書面等の保存をもって当該電磁的記録に代えることができる措置は、廃止する。
 参照：令和3年度 税制改正の大綱（4）②



- ☆ 2022年1月1日から2023年12月31日の電子取引データ
- ☆ やむを得ない事情がある場合には、引き続きその書面出力を可能とする。
- ☆ 所轄税務署長へ手続は不要



3-2. 2022年度の導入支援活動①

◆重点項目

- 2023年10月施行予定のインボイス制度への対応を円滑におこなうための情報提供
 - ✓ 正会員団体の説明会や勉強会での説明など
- DX化の一環であるEDI導入（インボイス制度対応）に必要なとさせる製品やサービスに関して、流通BMSロゴ使用許諾企業の内容をリテールテックや協議会ホームページを活用して情報提供
- 小売業の取引先説明会への講師派遣



The Global Language of Business

16

3-2. 2022年度の導入支援活動②

◆流通BMS未導入企業への働きかけ

- インボイス制度への対応等を含め、流通BMS導入を促進するために、未導入の小売企業へPR
 - ✓ 正会員団体の説明会や勉強会での説明など
 - ✓ 卸売業様及びITベンダー様の協力の基、個別に小売業様を訪問し、現状の課題等をヒアリングすると共に、流通BMS導入の働きかけをおこなう

★是非とも、積極的に声がけください！



The Global Language of Business

17

3-3. 2022年度の普及推進活動①

◆重点項目

□ 2022年度も、普及推進部会を設置し、流通BMS普及のための各種施策を検討・実施する。

- 2023年10月施行予定のインボイス制度の情報提供
 - ✓ 協議会主催セミナーの実施
 - ✓ 動画／リーフレットの作成
 - ✓ e-learning内容の改訂（インボイス対応等を追加）
 - ✓ 流通BMS導入企業及びITベンダーの協力を仰ぎ、導入事例などを協議会ホームページで公開



The Global Language of Business

18

3-3. 2022年度の普及推進活動②

◆普及推進部会の開催

□ 2023年1～3月に普及セミナー（4都市）をハイブリット開催予定

『2023年10月施行予定のインボイス制度対応に向けた情報提供』

- 講演内容の検討
 - ✓ 財務省、卸売業、小売業（、NTT東西【INS関連】）
 - ✓ 協議会事務局（流通BMSインボイス対応の概要）
- 会場後方のITベンダー相談コーナー設置依頼
 - ✓ インボイス制度や電子帳簿保存法等への対応方法の相談を各種製品やサービス内容と共に説明いただく



The Global Language of Business

19

**流通BMSに関する各種問い合わせは
E-mail : ryutsu-bms@gs1jp.org へ**

**流通BMSの維持管理等の業務に対し
ご指導・ご協力、宜しくお願い致します。**

<https://www.gs1jp.org/ryutsu-bms/>



The Global Language of Business